令和6年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) エンゼル認定こども園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児担当制を進めるなかで、乳児と幼児の発達のつながりを見直したことで保育・教育の内容を再検討する機会になった。 ・ 自由に遊ぶ時間と空間を増やし、子どもが自分で遊びを選べる環境を整えることで、遊びに集中する子どもが増えてきた。 ・ 日々の保育・教育内容が、子どものどういった育ちにつながるかということを意識し、根拠のある計画ができるようにしていきたい。 ・ 生活のなかで必要なさまざまな約束事が、保育者によって差があるので、もう一度全体の確認をしていきたい。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが安心して園の生活を楽しむ中で、約束事を守りながら自分自身で考えて触れたり試したりできる環境をつくる
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児担当制…安心して過ごせる環境のもと一人ひとり丁寧にかかわる中で、個々に合った成長発達をとらえて、より細かく言葉かけや援助をする。 ・ 環境を整える…発達に沿ったさまざまな遊具をそろえ、自分で選んで遊べる環境を作っていく。子どもたちが生活しやすい空間で過ごせるように工夫する。 ・ 保育内容…子どもが身のまわりの事柄について知ることができるようにする。季節の移り変わりや自然事象に興味をもてるような内容を増やす。 ・ 自分で考えて行動できる…自立へ向けてできることを増やすなかで、子どもの挑戦を見守り、諦めずにやってみようとする力を育む。 ・ 約束事について…園生活の中で必要なさまざまな約束事を全体で共有する。
成果	<p>子どもの育ちをより意識しながら保育者間で自分たちの保育を見直し、午睡、排泄、着脱等についての話や遊びの環境についての話を積極的に行った。その結果、室内環境をいくつかに分け必要な玩具を1か月ごとに見直したことが、子どもが遊びを自由に選んでじっくり遊びこめるよりよい環境作りになった。さらに好きな遊びの時間を多くとったことで、充実した表情を見せる子どもが増えただけでなく次の活動への切り替えがスムーズになってきたように感じている。</p> <p>保育内容については、季節の移り変わりや自然事象に関心を持てるような内容を意識して増やした。子どもが園庭のイチョウを拾ったことをきっかけにして造形に繋げたり、散歩ではドングリなどの木の実を持ち帰り形の面白さや特徴を図鑑などで調べたりした。子どもが興味を持ったことに寄り添い季節の自然物を部屋に飾るなどの環境作りをしたことで、身のまわりのさまざまな事柄に深く関心を持つようになってきている。</p>
評価	<p>乳児については育児担当制を取り入れ、子どもたちが安心して過ごしている様子がみられた。集中して遊ぶ姿や、安心・安定した状態から遊びに取り組む姿が多く見られ、子どもたちが楽しく過ごしていることがよくわかる。幼児については、子どもたちのやりたい気持ちや興味関心を中心に保育が行われており、ドキュメンテーションからそのプロセスがよく分かるようになってきている。各年齢において、保育の中にテーマが見られ、何かを追究していくような雰囲気が感じられる。保育者同士が切磋琢磨しつつ協力する雰囲気が見られ、園全体として質が高まっているといえる。今後もこの勢いを保ちつつ、保育を楽しんで行っていただきたい。</p>